

2月号 FEB 2018

<http://www.maruto-shoji.co.jp>

契約栽培について

あっという間。本当に時間が経つのが早く感じます。歳でしょうか(笑) 光陰矢の如しとも言いますが、二度と戻ることのない時間を大切にしなければならないと実感します。

1月22日から23日にかけて都心含め関東では大雪となりました。弊社近辺は22日の午前9時頃から本格的な雪になりお昼頃にはすっかり雪景色。最近の野菜高騰に追い打ちをかけるような天候に危機感を覚えます。また降雪後の1週間は私自身、自宅周辺では過去経験したことがないような冷え込みが続きました。今回の降雪の影響により野菜供給量の回復は暫く滞るとともに、3月以降に収穫が見込まれる葉物野菜にも何らかの被害が出る可能性もあります。

1月上旬には弊社契約産地のJA前橋市様を訪問し、今期の玉葱の植付状況を視察してきました。定植作業自体は計画通り年内に終了をしていましたが、状況としてはあまり良くありません。群馬県では昨年より干ばつが続いているおり、1月上旬の訪問時点で11月頃からわずか3回しか降雨がないとの話でした。苗の状態も今期はばらついており、定植後の降雨がなかったこともあります。環境としては今期厳しい状況のことでした。回復を期待したいと思います。

また1月下旬には熊本の玉葱状況も確認してきております。九州地方は曇天が多く日照が少なく、気温が上がらない状況が続いていることで、苗の状態があまり良くなかったようです。今期は定植を年内に終了させるという目標で動いており、その点については計画通りに進んでいるそうです。お取組み先様としては新しい産地となるためしっかりと会話をさせて頂きながらお互いの課題点を共有して長く続くパートナー産地として進んでいきたいと癌が得ています。

今回熊本産地を回っていて思ったことがあります。青果物における「契約」の考え方です。本来価格と数量においてお互いに合意した上で契約を行うと法的拘束力が発生するはずです。しかしながら青果物においては契約不履行の場合でも「天候要因」ということで契約が履行されない場合があります。我々業務加工用野菜においては4定と言われる定時・定量・定品位・定価が求められますが、非常に難しい課題です。今回出張において様々な話を聞きましたが、地域性もあるかと思うのですが、生産者様と実需者の間での契約に対する概念にやはりギャップがあるなど実感しました。加工業務用野菜のユーザー様は「契約栽培」を求めています。弊社もです。しかしながら生産者とユーザーの間には根本的なギャップがあります。本当は契約栽培など成り立たない業界なのかもしれません。

弊社においては玉葱含め様々な生産者様と契約栽培をさせて頂いております。遠回りかもしれません、コミュニケーションをとり、お互いの課題を共有する。そこから見直すことが契約野菜の進展、安定化には結局早道になるのではないかと思います。しっかりと取り組んでいきたいと思います。



JA前橋市管内圃場



熊本市街圃場

“食”の分野で役立つマーケティング情報

チョコレートを専門に扱っている輸入商社の方とお付き合いを始めて、そろそろ12年になります。彼の会社が取り扱っているチョコレートはフランス、ベルギー、イタリア、スペインなど主にヨーロッパから輸入されたもので、そのほとんどが大量生産はせずに伝統的な手法を用いて作られています。そのどれもが日本ではなかなか味わうことの出来ないチョコレートのコクとカカオ本来の風味、個性的な美味しさでたいへん人気があるそうです。ただし、そのお値段もなかなかのもの。普段はスーパー やコンビニで百円前後のチョコレートをたまに買うような自分にとっては、「どうしてそんな高価なチョコレートが売れるのだろうか?」といつも不思議に思っていました。

先日の大阪へ出張に行った時のこと。打合せまでには、まだだいぶ時間があったこともあり、大阪駅近くの阪急百貨店本店で「CHOCOLATE EXPO 2018」いわゆるバレンタインデーに合わせたチョコレートのイベントがたまたま開催されていたので立ち寄ってみました。何度か参加していた彼から「梅田の阪急百貨店での催しでは売れるのですよ」と聞いてはいましたが、会場での熱気は想像以上でした。何しろ人、人、人の、いや正確には女性、女性、女性の波があたり一面から押し寄せるかのようでした。チョコレートの何が彼女たちを引きつけるのでしょうか。

ここまできて、ようやく気付きました。この会場で次々に現れるのは、カカオ産地の生産者の物語、作り手のロマン、華やかできらびやかなコンクール、イケメンのパティシエ、デザインされた素敵なかッケージそして味も見た目も魅力的なチョコレート。これらはいつも私が女性をターゲットにした仕事で考えている大切な要素。つまりチョコレートが作る世界には、仕事で使えるヒントに溢れていたのです。

そういえばもうすぐバレンタインデー。これまで思ったことはないですが、一度くらいお返しに悩むような魅力的なチョコレートをもらってみたいですね。



木下康司 きのしたこうじ

1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。

デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組み続けている。

<http://www.kino-company.com>

営業課長中村のマルト便PLUS! Ver2018



本年もどうぞよろしくお願ひいたします。
2月のマルト商事玉葱産地情報&見通しをお届けします！

取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産	北海道産玉葱は順調に入荷し、そして出荷し、足りない… 今季一部のエリアでは玉葱内部の傷み、腐れなどにより想定以上の廃棄が発生しているとのことです。そのため契約数量を出荷できないエリアもあります。加えて確認できているところで関東各産地の初期生育は良くないため、5月以降の国産玉葱状況は厳しいと感じております。安定供給に向けて早め早めに手を打っていきたいと考えております。
中国	甘肃省産玉葱は品質、数量ともに順調に入荷しております。中国現地では一部原料ブローカーからの投げも発生しているようですが、契約玉葱については安定品質、安定価格にて仕入れ、高品質商品をお客様へお届けいたします。
USA(黄玉)	品質、数量ともに安定しております。契約をしていただいたお客様のみに販売しておりますが、順調すぎるペースで消化しております。3月前半で販売終了を見込んでおります。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315